

令和2年4月15日

本科2年生各位

学生課学生係

令和2年度関育英奨学会奨学生の募集について

標記の件について、関育英奨学会から別紙のとおり奨学生を募集する旨の案内がありました。

つきましては、奨学金の受給を希望する場合は、応募に必要な書類を送付しますので速やかに学生課学生係（0138-59-6434）へ連絡してください。

なお、書類が届きましたら、5月11日（月）までに下記書類一式を学生課学生係に提出（郵送または持参）してください。

記

【5月11日（月）までに提出する書類】

- (1) 奨学生願書
- (2) 作文（800字以内） 課題「将来の夢」  
※市販の400字詰め原稿用紙に記入し，作成してください
- (3) 学業成績証明書（学生係で用意します）
- (4) 奨学生推薦調書（学生係で用意します）

【お問い合わせ先】

〒042-8501 函館市戸倉町14-1  
函館工業高等専門学校  
学生課学生係（担当：藤田）  
TEL：0138-59-6434  
FAX：0138-59-6330

# 奨学生募集要項

一般財団法人 関育英奨学会

事務所 東京都足立区伊興4-1-29  
〒121-0823 電話 03-5647-8787

## 設立にあたって

一般財団法人 関育英奨学会は 故前理事長 関 湊 の発意によるものである。

幼年時代から困窮の中を生き抜いた七十余年の生涯を顧みて、努力第一主義を信念として生きて来たのであるが、よく考えると、吾人の今日あるのは、全く国家社会の恩恵によるものであり、世間の多くのよき人々の暖かい援助があったお蔭であることを痛感し、感謝せずにはおられなかった。これが報恩の道は如何にすべきかを考え、日夜、夫婦相寄り協議した。それには前途ある有為の人物の育成、即ち育英事業のお手伝いをするのが、社会の大恩に報ゆる最もよき方法と考えたので、育英奨学会の設立を念願して、二人の私財を合せこれに投じた。かくてこの念願は叶えられ、昭和56年1月8日文部大臣からその設立を許可されたものである。

申すまでもなく、この事業の眼目は、資質優秀な青年学徒に対し、学費を貸与して、修学援助を行い、将来社会に貢献し得る有為の人材の育成をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与しようとするところにある。

奨学生を志望される方は、よく、この感謝と報恩の心を理解して、応募していただきたい。

## 奨学生募集要項

### 1. 奨学生の出願資格

本会が推薦校として指定した高等専門学校及び大学の第二年次に在学し、人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者。

### 2. 出願手続

奨学金の貸与を希望する者は次の書類を揃えて在学する学校長を経て、本会に出願して下さい。

- (1) 奨学生願書（本会所定の用紙）
- (2) 在学学校長の推薦調書（本会所定の用紙）
- (3) 成績証明書
- (4) 在学証明書
- (5) 作文（800字以内）（市販の400字詰原稿用紙） 題「将来の夢」

### 3. 奨学金の貸与金額及び貸与期間

- (1) 奨学金の貸与額（貸与ですから返還の義務があります）

高等専門学校奨学生	月額2万円
大学奨学生	月額3万円

- (2) 貸与期間

奨学生となってから、在学する学校の正規の最短修業期間。

### 4. 貸与の方法

原則として毎月当月分を本人の申出により銀行に振込送金します。ただし、特別の場合は2カ月以上をあわせて送金することがあります。

### 5. 奨学生の採用

奨学生の採用は、本会の奨学生選考委員会の選考を経て理事長がこれを決定し、在学学校長を経て本人に通知します。

採用になったときは、学校から採用通知書と誓約書を受取り、所定事項を記入押印して必ず期日までに学校に提出して下さい。

理由なく期日までに提出を怠った者は採用を取消します。

### 6. 奨学金の休止、停止、廃止

- (1) 奨学生が休学し、又は長期にわたり欠席するときは奨学金の交付を休止します。

(2) 奨学生の学業又は性行などの状況により、指導上必要があると認めるときは交付を停止します。

(3) 奨学生が次の各号の一つに該当すると認められるときは、在学学校長の意見を徴して奨学金の交付を廃止します。

- ① 傷病のため成業の見込みがなくなったとき
- ② 学業成績又は性行が不良となったとき
- ③ 奨学金を必要としなくなったとき
- ④ 奨学生として適当でない事実があったとき
- ⑤ 在学で処分を受け、学籍を失ったとき

#### 7. 奨学生の復活

規定により奨学金の交付を休止又は停止された者が、その事由が止み、在学学校長を経て願出たときは、奨学金の交付を復活することがあります。

#### 8. 奨学生の義務

奨学生として採用されたときは次の事項を守ることを誓約するものとします。

本会の定める奨学金貸与規程その他の規定を守り、本会及び学校の指示に従い必要な手続きは怠りなく行うこと。なお、ひたすら学業に励み、健康に留意し、奨学生にふさわしい行動をとること。

また、奨学生のために行う本会及び学内の各種行事等には積極的に参加し、奨学生間の意識を高め、相互の親睦に努めること。

#### 9. 奨学金の返還

奨学金は学費として貸与するもので、奨学金はこれを卒業後必ず返還しなければなりません。この返還金はただちにその年の奨学金となり後輩に貸与されます。

奨学金の返還は、貸与が終了した月の翌月から12ヵ月を経た後、20年以内に年賦、半年賦または月賦による等額割賦の方法によります。奨学金は無利息です。返還の手続き等は貸与期間終了のとき、規定により必要な書類を調製します。

#### 10. 願書記入上の注意

奨学生願書は選考上、大切な資料であるから、書類提出時の状態をありのままわかるように記入すること。記載内容が故意に事実と相違して記入してあるときは、採用後でも取消しますから、正確に記入すること。

年齢は4月1日現在で満年齢を記入すること。